

「日本・アジア学」講義紹介

『アジアの環境研究の最前線』
(地域文化研究特別講義Ⅱ)

日本・アジアに関する教育研究ネットワークは、2011年度から「アジアの環境研究の最前線」という科目を実施しています。

この科目は、アジアで発生している環境問題とそれに関わる最新の研究成果を東京大学に所属する気鋭の若手研究者の協力を得ながらオムニバス形式で学ぶものです。

2012年度に取り上げたテーマは、河川環境や国際衛生行政、健康リスク、水環境、マラリア、労働環境、ジェンダー、沿岸環境、情報システムなどいずれも環境研究でホットな話題ばかりです。また、日本をはじめ、中国やタイ、ベトナム、バングラディッシュ、スリランカ、インドネシアなどアジアの多くの国々や特徴的な地域の事例を取り上げました。

この科目は研究科等横断型であるため、農学や医学、工学、新領域、法学などさまざまな専門をもつ学生が受講します。授業の終盤には若手研究者と交流する時間も設けており、受講生たちは自らの専門に引きつけた質問をし、議論はいつも盛り上がりします。

ASNET機構は、今後も『アジアの環境研究の最前線』科目を続けることで、東京大学の大学院生たちにアジアのことを広く、そして深く理解してもらいたいと考えています。



「日本の労働世界とジェンダー」の講義風景

文・写真: 卯田宗平

日本・アジアに関する教育研究ネットワーク（ASNET機構）は、研究者や学生が分野を超えて繋がり、アジアに関係する教育や研究の新たな可能性を探るために設立された東京大学の機構です。

アジアのことを広く、深く知りたい学生の皆さんに研究科等横断型「日本・アジア学」教育プログラムも実施しています。詳しくは下記のURL：

<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

ASNET機構

検索

ワタシのオシゴト 第77回

Rings around the UT

法学政治学研究科等大学院係 係長

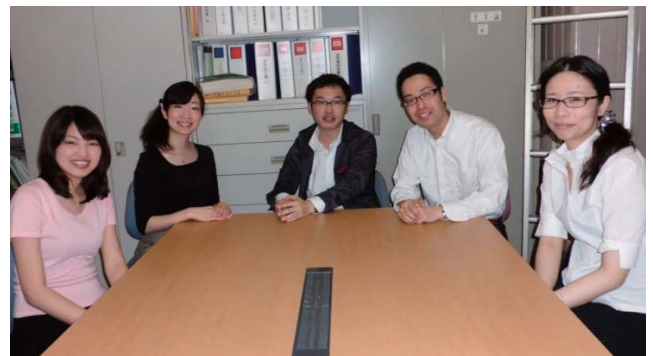
栗原 裕光さん

超フワフワです。



もう7歳、割と熟女

お世話になった教育学部に別れを告げ、4月から法学部の大学院係長に着任しました。大学院係では綜合法政専攻と法曹養成専攻（いわゆるロースクール）の2つの専攻に関する学務的な事項を所管しています。両専攻の制度設計がかなり異なっており、毎日うろたえる日々です。が、困ったことばかりではありません。まず、頼もしい係員に囲まれていること。掲載してる写真からもひしひしと頼もしさが伝わってくるんじゃないでしょうか。それから、顔周りがすっきりしたんじゃないの？と言われること。仕事でオロオロした分、運動しても効果がなかった部分に確実に効いてきているようです。そして最後に、癒してくれる存在、愛犬のムッソリーナ。愛犬という月並みな言葉でしか言い表せない自分が口惜しいことこの上ないですが、駆け寄りただけで疲れも忘れてしまいます。写真では十分に伝わってないかもしれませんが、超フワフワなんすよ、これが。



頼もしい人々

得意ワザ：深いため息
自分の性格：せっかち
次回執筆者のご指名：福井諭さん
次回執筆者との関係：この方も癒し系です
次回執筆者の紹介：リアルジーニアス